

計画の基本理念を引き続き「みんなので支え合い、生涯を現役で過ごせるまちづくり」とし、今後、様々な施策を計画的に展開してまいります。

【子育て支援】

妊娠から出産、子育てと進んで行く流れの中で、相談体制の充実や支援制度のあり方は、非常に重要なポイントだと思っております。

この度、こうした相談体制や支援制度の情報を一つのファイルにまとめた「赤ちゃん手帳」が、完成しましたので、これらを活用しながら、妊産婦の不安軽減に努め、産み育てやすい環境づくりを図ってまいります。

また、子育てしやすい環境整備の一つに、保育所の充実が、欠かせない要素であるため、受け入れ体制の確保はもとより、保育料の軽減対象について、見直しすることとしております。

現在、保育所に二人以上が、入所している世帯の第2子以降について、軽減を行っておりますが、本年度からは、18歳未満の児童を

二人以上養育している世帯の第2子以降であれば軽減の対象となるよう拡充してまいります。

【医療】

本年度、浦郷診療所において、最新の超音波診断装置を導入することといたしました。

最新の装置を導入することで、内科疾患はもとより、整形的疾患においても、より正確な診断が可能となるなど、良質な医療の提供に繋がるものと思っております。

安心と住みやすさを実感できる町を目指すためには、子育て支援や医療、福祉の充実が欠かせませんが、関係現場においては、人材確保に大変苦慮している状況であります。

こうした状況を改善するため、事業所や専門職を養成する学校などと連携し、交流研修や修学支援金制度の活用を図るとともに、有資格職員確保に向けた給付金制度の創設など、担い手確保に努めてまいります。

また、「家庭的保育事業」も視野に入れ、そのための人材育成に取り組みほか、シニア世代を対象とした介護サポーター養成などに

も、取り組んでまいります。

住民生活

【社会保障、税番号制度】

現在、国では社会保障、税制度の効率性と国民の利便性向上を図る目的で、この制度にかかるシステム構築が進められているところであります。

将来的には、行政機関等と連携することで、行政手続きにおける添付書類の簡素化、事務の効率化などの効果が、期待されております。

【地籍調査事業の再開】

本町の地籍調査は、宅地まわりを中心に、約54%を終えて、現在、休止しております。

しかしながら、近年、頻発している大規模災害からの復旧や将来的な土地の利活用など、地籍調査の重要性から、本町においても今年度、美田尻地区で同事業を再開することといたしました。

今後、事業の実施にあたっては、土地所有者及び計画地域の方々の協力やご理解を得ながら、慎重に進めてまいります。

社会インフラ

国の公共事業費は、昨年度とほぼ同額であり、老朽化した道路や橋など、社会基盤の補修・更新に対し、重点配分されております。

本町におきましても、老朽化対策をはじめ、地域振興や安全で利便性の向上に繋がる整備を中心に、島根県と連携を図りながら、精力的に進めてまいります。

【道路】

事業による西ノ島海士線（倉ノ谷工区）への着手が予定されているほか、県道国賀海岸線、珍崎浦郷港線の改良・改修、町事業では町道大山線や新小中学校へのアクセス道路整備など、引き続き実施してまいります。

また、新たに自転車通学における生徒の安全確保を図るため、町道467号線の船越から浦ノ谷の間で、側溝の蓋掛けを実施してまいります。

環境

新しい一般廃棄物処理施設の整備につきましては、平成27年度の

完成を目指しております。

海の環境を保全し、快適な生活を築くため、下水道接続の推進を図るとともに、グリーンカーテン事業、太陽光発電の普及に向けた助成など、引き続き行いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

また、海岸漂着物の対策につきましても、観光船ルートを中心に町内全域で回収を行い、豊かな景観を後世に伝えていきたいと考えております。

教育・文化

現在、整備が進められている小中一体型校舎の建設は順調に進んでおり、校舎本体は本年度で完成する予定となっております。

今後は、平成28年度2学期からの供用開始に向けて、太陽光発電設備、備蓄庫、外構などの整備も進めてまいります。

【学校教育】

通常学級に在籍しながら特別支援教育が受けられる通級指導教室は、指導教員が島前地区で1名しか配置されていないことから、3町村の学校を受け持つには指導時間の確保が、難しい状況にあります。

こうしたことから、指導教員の増員を求めているところ、本年度より西ノ島中学校にも1名配置される見込みとなりましたので、通級指導教室の充実に繋がるものと期待しております。

島根県では、未来を担う子どもたちの「読む力」の育成と充実を図るため「子ども読書県しまね」を推進しております。

本町でも、今年度より2か年事業で、図書システムの整備を行うなど、図書に親しむ環境づくりに、努めてまいります。

また、昨年に続き教職員を対象とした「子どもに興味を抱かせる授業の在り方」についての模擬授業や研修会を開催し、児童生徒の学力向上を目指してまいります。

【伝統文化への取り組み】

現在、島前3島で傳承されている島前神楽を県指定の無形民俗文化財から国の指定に格上を目指し、関係者の取り組みが進められております。

地域の伝統文化を末永く後世に引き継ぐためにも、行政としての支援策などについて検討してまいります。

西ノ島町議会（議会構成）

議長 仲吉 正

副議長 竹谷 実

総務福祉常任委員会

委員長	尾崎 満
副委員長	安達 静香
委員	仲吉 正
〃	口村 光房
〃	小島 正春

産業建設常任委員会

委員長	中上 哲一
副委員長	中上 省三
委員	竹谷 実
〃	富谷 修司
〃	中瀨 堯介

議会運営委員会

委員長	竹谷 実
副委員長	中上 哲一
委員	中上 省三
〃	尾崎 満
〃	安達 静香

広報調査特別委員会

委員長	小島 正春
副委員長	安達 静香
委員	竹谷 実
〃	口村 光房
〃	尾崎 満

隠岐広域連合議会

議員	竹谷 実
〃	中瀨 堯介

島前町村組協議会

議長	仲吉 正
議員	尾崎 満
〃	安達 静香

西ノ島町監査委員

委員	小島 正春
----	-------